

## 平成28年度事業計画

### <公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）>

公益財団法人電通育英会は、優秀でありながら経済的な理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供、大学生等を対象とした人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

### <平成28年度事業計画について>

平成28年度は、前年度と同様に6億円を上回る基本財産及び特定資産の運用収益が見込まれます。当面は同程度の収益が継続すると見込まれるため、育英事業の拡充を図ります。具体的には以下の4点。

- 1) 時代の変化に対応するため、一般枠および震災支援枠の対象学問領域を拡大します。従来は文系分野だけでしたが、平成28年度募集より理系分野も含め学問領域の制限を設けないこととします。但し、6年制の学部・学科（医・歯・薬・獣医等）は当面对象外とします。
- 2) 上記学問領域拡大に合わせ、以下についても拡大します
  - ①一般枠の募集人員を前年から5名増やし60名とします。
  - ②一般枠および震災支援枠の指定大学について、現在の指定大学に東京工業大学、東京農工大学、東京理科大学の3大学を加えます。
- 3) 採用内定者の大学受験およびそれに関連する費用負担を援助するために、「受験等助成金」を新設。内定者に10万円を給付します。
- 4) 奨学生の入学時の負荷を軽減すべく、入学一時金を、一般枠および芸術枠とも10万円拡大し30万円とします。震災支援枠は平成23年の募集開始時から30万円。

また、助成事業については、大学及び学生が応募しやすい仕組みにし、これまでの助成金額枠を上限100万円に一本化し、応募団体毎に大学・学生枠と一般枠を設けます。

## 1-1. 大学生への奨学金支給事業 <公益事業1>

### (1) <一般枠>大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

平成28年度の大学進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成27年6月に行ない、平成27年7月の選考委員会で67名が内定しました。前年度の一浪生16名も含めた83名の内定者のうち、平成28年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始します。（平成28年4月入学者数は、55名と想定）

28年度の給付者総数は、25年度採用の52名、26年度採用の45名、27年度採用の44名、合わせて196名（想定）となります。

また、平成28年度は下記の通り募集・予約選考作業を行います。（平成29年度入学）

①給付対象：当財団が指定する国公立高等学校の3年生で、在学学校長から推薦された者。成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定大学への入学を条件とする。

②給付金額：選考内定時の受験等助成金100,000円、入学一時金300,000円、のほか、月額60,000円・期間は最長4年間。

③予約採用者数：年間60名程度。

④採用方法：予約採用者は、主要国立大学進学者数ランキング上位の国公立高校（全国約150校）より各校1名推薦された候補者の中から、選考委員会での書類選考、選考委員による面接選考を経て、理事長が決定する。

⑤初年度指定大学不合格の場合、次年度の再受験を認める。（所謂「一浪」まで可）

一般枠奨学金：（28年度予算）160,120,000円 @92万円×55名+@72万円×141名+  
@10万円×80名  
（27年度予算）164,400,000円 @92万円×66名+@72万円×144名

### (2) <芸術枠>大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

当財団の特色を出すための制度で、平成23年度入学から奨学金を給付しています。

平成28年度の芸術系の大学・学部進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成27年6月に行ない、平成27年7月の選考委員会で11名が内定しました。前年度の一浪生3名も含めた14名の内定者のうち、平成28年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金支給を開始します。（平成28年4月入学者数は、10名と想定）

28年度の給付者総数は、25年度採用の9名、26年度採用の4名、27年度採用の7名と合わせて30名（想定）となります。

また、平成 28 年度も下記の通り募集・予約選考作業を行います。（平成 29 年度入学）

- ①給付対象：当財団が指定する国公立高校(全国 150 校)の 3 年生で、在学学校長から推薦された者。成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定の芸術系の大学・学部への入学を条件とする。
- ②給付金額：選考内定時の受験等助成金 100,000 円、入学一時金 300,000 円のほか、月額 60,000 円・期間は最長 4 年間。
- ③予約採用者数：年間 10 名程度。
- ④採用方法：「(1) <一般枠>大学生への奨学金給付」と同様。
- ⑤初年度指定大学不合格の場合は次年度の再受験を認める。（所謂「一浪」まで可）

芸術枠奨学金：（28年度予算）24,600,000円 @92万円×10名+@72万円×20名+  
@10万円×10名

（27年度予算）24,000,000円 @92万円×12名+@72万円×18名

### (3) <震災支援枠>の大学生への奨学金給付(高校時予約採用)

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災で被災した者を対象とした奨学金制度です。

平成 28 年度の大学進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成 27 年 6 月に行ない、

平成 27 年 7 月の選考委員会で 17 名が内定しました。前年度の一浪生 2 名も含めた

19 名の内定者のうち平成 28 年 4 月に当財団指定の大学に入学した者に対し、入学一時金の支給と奨学金の給付を開始します。（平成 28 年 4 月入学者数は、15 名と想定）

28 年度の給付者総数は、25 年度採用の 3 名、26 年度採用の 2 名、27 年度採用の 7 名と合わせて 27 名（想定）となります。

#### 【平成28年度以降の募集・予約選考作業について】

この<震災支援枠>の奨学金等は、平成23年6月の理事会で決議された「特定費用準備資金」からの支出です。平成24年度から26年度までの3年間、各年15名（計45名）の採用を予定していました。しかし、45名の採用枠に対し現在までに15名が採用されましたが、まだ30名の採用枠が残っています。28年度に15名が採用されても15名の枠が未だ残ります。上記の「特定費用準備資金」は、平成23年東日本大震災の被災者に対する支援を限定目的としたものですので、他の公益目的事業に残金を振り向けることは原則として、できません。

そこで平成 28 年度も下記の通り募集・予約選考作業を行います。（平成 29 年度入学）

- ①給付対象：当財団が対象とする被災 3 県の公立高校 3 年生で、東日本大震災で被災またその影響で困難な生活を送る成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定の大学への入学を条件とする。

- ②給付金額：選考内定時の受験等助成金 100,000 円、入学一時金 300,000 円のほか、月額 60,000 円・期間は最長 4 年間。
- ③予約採用者数：年間 15 名程度
- ④採用方法：予約採用者は、岩手県・宮城県・福島県内のランキング上位の公立高校（64 校）の校長から推薦された候補者の中から、選考委員会での書類選考、選考委員による面接選考を経て、理事長が決定する。
- ⑤初年度指定大学不合格の場合は次年度の再受験を認める。（所謂「一浪」まで可）

震災支援枠奨学金：（28年度予算）25,440,000円 @102万円×15名+@72万円×12名+@10万円×15名  
（27年度予算）19,020,000円 @102万円×13名+@72万円×8名

#### （4）大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

当財団の大学奨学生を対象に、海外留学・活動を希望する者に対して支援金を給付する制度を平成 26 年度に導入し、27 年度には内容を拡充し、利用者も増加しつつあります。

大学生海外留学・活動支援金： （28 年度予算） 8,500,000 円  
（27 年度予算） 7,000,000 円

## 1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

平成 25 年度採用から、大学院奨学生の対象を当財団の大学奨学生に限定する制度に変更しています。

### (1) 大学院奨学生（学部予約）への奨学金給付

平成 28 年度の大学院進学予定者に対する募集を平成 27 年度に行ない、書類選考及び面接選考の結果、6 名を採用内定としました。このうち、平成 28 年 4 月に当財団指定の大学大学院に進学した者に対し、大学院修士課程 2 年間、月額 8 万円の奨学金給付を開始します。

平成 28 年度の給付者総数は、27 年度採用 9 名と 28 年度採用の 6 名と合わせて 15 名（想定）となります。

また、平成 29 年度の大学院進学予定者について、下記の通り募集・選考を行います。

- ①給付対象： ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること  
・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者  
・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②給付金額・期間： 月額 80,000 円、給付期間は 2 年以内とする
- ③予約採用者数： 10 名程度
- ④採用方法： 書類選考、面接選考を経て理事長が決定する。

大学院生奨学金	：	(28年度予算)	14,400,000円	@96万円×15名
		(27年度予算)	14,880,000円	@96万円×15名+48万円(*)

(\*)休学により 6ヶ月間だけ奨学金を給付。

### (2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

当財団の大学院奨学生を対象に、海外留学・活動を希望する者に対して支援金を給付する制度を平成 26 年度に導入し、27 年度には内容を拡充し、利用者も増加しつつあります。

大学院生海外留学・活動支援金：	(28年度予算)	1,500,000円
	(27年度予算)	1,000,000円

### (3) 大学院留学生（現地採用）への奨学金給付

平成 22 年度から行っておりました中国からの大学院留学生の受け入れは、平成 26 年度の採用をもって 5 年の協約期間満了となり、中国教育部との合意により終了となりました。

平成 28 年度の給付者総数は、給付期間が 3 年間のため、25 年度採用の 6 名と 26 年度採用の 5 名合わせて 11 名で、月額 16 万円の奨学金を給付します。

留学生奨学金：（28 年度予算） 15,360,000 @192 万円×5 名+@96 万円×6 名

（27 年度予算） 24,960,000 @192 万円×11 名+@96 万円× 4 名

<参考>今後3年間の奨学生数の推移

	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度
大学奨学生（一般） 〈高校予約〉	8年目 1年生～4年生 196名	9年目 1年生～4年生 204名	10年目 1年生～4年生 224名
大学奨学生（芸術） 〈高校予約〉	6年目 1年生～4年生 30名	7年目 1年生～4年生 31名	8年目 1年生～4年生 37名
大学奨学生（震災支援） 〈高校予約〉	5年目 1年生～4年生 27名	6年目 1年生～4年生 39名	7年目 1年生～4年生 37名
大学院奨学生	4年目 1年生～2年生 15名	5年目 1年生～2年生 16名	6年目 1年生～2年生 20名
大学院留学奨学生 * 半期在籍者を含む	7年目 中国 11名 計 11名	8年目 中国 5名 計 5名	9年目 中国 0名 計 0名

## 2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

### (1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

毎年恒例の「奨学生の集い」を、平成 28 年度も現役奨学生全員（約 300 名）、OB/O  
Gの参加希望者、大学関係来賓等が一堂に会して、11月に東京で開催します。

講 演：未定

開催日：11月19日（土）

会 場：電通ホール（予定）

奨学生の集い関連費用：                   (28年度予算) 9,800,000円  
                                                 (27年度予算) 9,700,000円     \*奨学生の交通費含む

### (2) 大学奨学生に対するセミナーの実施

大学奨学生の1年生から3年生に対して、研修セミナーへの出席を義務付けています。汎  
用的スキルや課題解決力の育成などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世  
代人材を育成する一助とします。9月に1泊2日の合宿形態で実施します。

1年生対象：ロジカルコミュニケーション研修

2年生対象：課題解決力養成研修

3年生対象：自己分析とキャリアデザイン研修

\* 4年生については、3月に開催する「修了生交流会」への参加をもって代替します。

大学生セミナー関連費：                   (28年度予算) 11,100,000円  
                                                 (27年度予算) 10,670,000円     \*奨学生の交通費含む

### (3) 大学院奨学生に対するセミナーの実施

大学院奨学生および大学院留学奨学生に対して、セミナーを8月に1泊2日の合宿形態で  
実施します。内容は、奨学生の研究発表、各界講師による講演会、グループ討議、交流会  
で構成します。

大学院生セミナー関連費：                   (28年度予算) 2,500,000円  
                                                 (27年度予算) 2,500,000円     \*奨学生の交通費含む



#### (4) 修了生交流会

卒業予定の大学奨学生及び大学院修了生（留学生含む）を対象としています。奨学生の修了・卒業後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員、大学関係者など来賓出席のもと、「修了生交流会」を平成 29 年 3 月に東京で開催します。

修了生交流会関連費：	(28年度予算)	4,200,000円	
	(27年度予算)	4,000,000円	*修了生の交通費含む

### 3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

#### (1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

平成27年度は引き続きシリーズ特集テーマを「自分を育てる学生生活の過ごし方」とし、4月号「学内イベントを企画・運営する」、7月号「学食は食育の場である」、1月号「大学図書館をもっと活用する」を特集しました。いずれのテーマについても、大学教職員やキャリア教育の研究者へのインタビューと大学生の意見や感想を取材しました。

10月号では、27年7月に京都大学・東京大学と共同開催した『大学生研究フォーラム』を特集しました。

28年度も、大学生のキャリア形成や大学生活を中心に、現場情報を大学生及び大学教職員に対し提供していきます。また「大学を訪ねて」、「先輩！こんにちは」、「アメリカン・キャンパス・ライフ」等の連載企画は継続する予定です。

主要読者層は給付中の奨学生及びOBOG、大学関係者（学長室及び学生部）、教育関係者、奨学財団、全国主要図書館、全国の新聞社であり、新たに大学・高校関係者等、配布先を増やしていきます。部数は、「大学生研究フォーラム」参加者等から毎年30名前後の定期送付希望者があるなど増加傾向で、28年度は各号約4,000部を見込みます。

会報誌関連費：           (28年度予算)   26,000,000円  
                              (27年度予算)   26,000,000円

#### (2) 調査研究

平成28年度は、3年に一度実施（平成19年・22年・25年）している大学生キャリア意識調査（第4回）を京都大学（溝上研究室）東京大学（中原研究室）と共同で行ないます。さらに、平成26年度から始めた「当財団奨学生のキャリア追跡調査」を継続します。このプロジェクトは、法政大学キャリアデザイン学部の児美川研究室の協力を得て実施します。

調査関連費：           (28年度予算)   10,000,000円  
                              (27年度予算)   5,500,000円

#### (3) 第9回大学生研究フォーラムの開催

大学生キャリア意識調査の結果など大学生研究成果の情報発信の場として、また大学生研究の課題発見のための場として、毎年「大学生研究フォーラム」を開催しております。

教育学・心理学・青年若者論等の教員・研究者及び高校教諭、学生を対象にシンポジウムの内容を充実させてきました。

平成 28 年度のフォーラムも、8 月 25 日京都大学・高等教育研究開発推進センター、東京大学・大学総合教育研究センターとの 3 者共催で、「経験で終わるな、メタに上がれ！～わたしのメタラーニング宣言～」というテーマのもと、講演、事例報告等で構成します。

なお、「プレワークショップ」を、小中高大の教職員を対象に本年もフォーラム前日に併催として実施します。フォーラムおよびプレワークショップの内容は、IKUEI NEWS 10 月号にて特集する予定です。

フォーラム関連費：	(28年度予算)	8,500,000円
	(27年度予算)	8,000,000円

#### 4. 大学生を対象とした人材育成に取り組んでいる非営利組織への資金助成 <公益事業2>

学生を対象とした人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア活動、その他セミナー活動などを行っている大学内組織や民間NPO団体を主な対象として、活動計画を広く募集し、選考委員会にて書類選考・面接選考を行った上で、平成28年度は、応募総数32件から選考される団体による人材育成活動に対して、資金助成をいたします。

100万円助成、50万円助成とも、合わせて10団体程度を想定しています。

29年度に向けては、一部内容を変更して下記の通り募集・選考作業を行います。

**募 集**：10月に、若者対象の人材育成活動、キャリア支援活動を行う首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）の大学・非営利組織に対して、募集要項を送付。同時にホームページにも募集要項を掲載。29年1月中旬が応募締切。

従来の助成金額枠（50万円枠・100万円枠）から、同一金額枠（100万円）で応募団体毎に大学・学生枠と一般枠を設ける。

**選 考**：29年2月に、選考委員会にて書類審査を行い、その後、活動計画のプレゼンを受けて選考する。

##### <選考基準>

大学生等の人材育成効果に加えて①応募団体の過去の活動実績 ②活動の目的・有用性 ③実施計画の妥当性 ④計画遂行力 など、総合的に評価する。

人材育成活動助成事業関連費： (28年度予算) 10,600,000円

(27年度予算) 8,600,000円

#### 参考<大学内組織、NPOによる大学生等のキャリア形成支援活動（27年度採択）>

（助成金額100万円）6件

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| ・日本YWCAひろしまを考える委員会     | ひろしまを考える旅2015                 |
| ・NPO法人 大学宇宙工学コンソーシアム   | UNISEC ワークショップ2015            |
| ・NPO法人 ハナラゴ            | 学生記者養成プログラムの開発と普及事業           |
| ・早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター | 東日本大震災復興支援プロジェクト              |
| ・中央大学ボランティアセンター        | 防災を伝承し地域を巻き込む学生の「触媒力」向上プロジェクト |
| ・上智大学ボランティア・ビューロー      | 東日本大震災復興支援ボランティア事業            |

(助成金額 50 万円) 5 件

- NPO 法人 フリースクール全国ネットワーク      フリースクールスタッフ・不登校支援者養成連続講座 in 山口
- NPO 法人 ピルコン      児童養護施設における性教育教材開発事業
- 立教大学コミュニティ福祉学部      東日本大震災復興支援プロジェクト
- 法政大学ボランティアセンター「チームオレンジ」      被災地のスタディツアー
- 公益財団法人 ジェスク音楽文化振興会      第 36 回霧島国際音楽祭 2015

平成 28 年度主要行事 年間日程 予定表

	日 程	場 所
第18回理事会（決算）	6月8日(水)11:00～	帝国ホテル 松の間
第6回定時評議員会	6月23日(木)11:00～	帝国ホテル 扇の間
大学奨学生選考委員会	7月8日(金) 頃予定	電通銀座ビル4F会議室
大学院生セミナー	8月6日(土)・7日(日)	クロスウェーブ幕張
大学生研究フォーラム	8月24日(水)・25日(木)	京都大学
大学生セミナー	9月3日(土)・4日(日)	湘南国際村センター
第14回資産運用委員会	10月21日(金)13:30～	電通銀座ビル4F会議室
第19回理事会（資産運用等）	11月18日(金)11:00～	電通銀座ビル8F会議室予定
奨学生の集い	11月19日(土)予定	電通ホール
助成事業選考委員会	平成29年2月予定	電通銀座ビル4F会議室
第15回資産運用委員会	平成29年2月24日(金)13:30～	電通銀座ビル4F会議室
修了生交流会	平成29年3月予定	未定
第20回理事会（予算）	平成29年3月23日(木)11:00～	帝国ホテル予定